

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	6	施策名	水産業の振興
主管課名	農林水産課		
関係課名			

施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。</li> <li>・漁業の後継者が育っています。</li> <li>・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。</li> </ul>
---------------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。</li> <li>・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。</li> <li>・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。</li> <li>・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。</li> </ul>
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。</li> </ul>

市民意識調査結果	< 施策満足度調査結果 >				
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	0.023	0.115	0.064	0.044	
	< 施策重要度調査結果 >				
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		0.681	0.648	0.580	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	23 (20)	22 (18)	23 (19)	
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	17 (14)	4 (4)	5 (5)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	16 (12)	16 (12)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	2 (2)	2 (2)	
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	—	—	—	
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	44,106	26,877	43,254	
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	9,766	6,238	16,218	
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	18,640	19,939	26,336	
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	15,700	700	700	
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	—	—	—	
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	66	66	68		
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	6,000	5,940	6,000		
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	26,394	24,912	26,292		
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	70,500	51,789	69,546		
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	995	610	993	
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	596	566	604	
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	1,591	1,176	1,597	
	同 上	円	—	—	—	—	—	
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名①		水産業生産基盤の整備強化	
基本事業①の目的(意図)		資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【栽培増殖振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚介類資源の確保と増大を目的に、ヒラメ、クロダイを中間育成し放流、またアワビ、クルマエビ種苗を購入して放流しました。</li> <li>(H26年放流量 ヒラメ:22,800尾、クロダイ:9,700尾、アワビ:39,215個、クルマエビ:40,000尾)</li> <li>・「第35回全国豊かな海づくり大会」が平成27年10月に射水市で開催されることから、大会の機運醸成を図ることを目的にイベントとして市内児童によるヒラメの稚魚の放流を行いました。(〇〇魚津イベント会場 10月)</li> </ul> <p>【内水面漁業振興対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川における水産資源の確保と増大を目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。</li> <li>(H26放流量 アユ:88,570尾、イワナ:7,000尾、ヤマメ:6,000尾)</li> </ul> <p>【水産多面的機能発揮対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藻場の再生状況等のモニタリング調査を行いました。また水産物の供給をはじめ交流や教育の場としての多面的機能を保全するため、保全活動や活動を行う団体を支援しました。</li> </ul> <p>【漁港整備事業(新規)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進む経田漁港について、平成26～30年度までの計画で保全工事を行います。平成26年度は、実施設計を行いました。</li> </ul>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市場での水揚量	t	3,424	3,500 4,227	3,700 4,791	3,800 4,078	3,900 4,739	4,000 5,010	4,100	4,500
船揚施設利用船舶数	隻	119	120 109	125 117	130 106	130 89	130 93	130	130

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○漁港整備事業	8,748,000	8,748,000	0	A	農林水産課
2	一般会計	○栽培増殖振興対策事業	2,350,000	1,846,800	503,200	A	農林水産課
3	一般会計	○内水面漁業振興対策事業	600,000	600,000	0	A	農林水産課
4	一般会計	○漁港維持管理事業	3,300,000	3,290,760	9,240	B	農林水産課
5	一般会計	○水産多面的機能発揮対策事業	1,885,000	1,732,890	152,110	B	農林水産課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			16,883,000	16,218,450	664,550		

基本事業概要シート②

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名②		水産業経営基盤の整備強化と担い手育成	
基本事業②の目的(意図)		漁業の後継者が育っています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行いました。また、東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。</li> <li>・台風19号(H26.10)により定置網の破断等の被害を受けた2経営体に対し、定置網の買い替えに係る費用の一部を補助しました。</li> </ul> <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業漁業活性化計画に基づき推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対する支援を引き続き行いました。</li> </ul> <p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規漁業就業者の獲得のための説明会、研修会等の開催に対して支援しました。</li> </ul>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
漁業者数(漁協正組合員)	人	220	220	220	225	225	230	240	250
ボートヤード利用隻数	隻	74	60	65	70	75	80	90	100
			74	69	65	65	67		

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	船員窓口事務	3,000	1,350	1,650	-	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	-	農林水産課
4	一般会計	あいの風海域沿岸首長会議参画事業	20,000	20,000	0	-	農林水産課
5	一般会計	港湾公衆便所管理業務	390,000	378,768	11,232	-	農林水産課
6	一般会計	漁協女性部助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
7	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	70,000	70,000	0	-	農林水産課
8	一般会計	魚津港振興会助成事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
9	一般会計	経田漁港振興会助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
10	一般会計	水産都市協議会参画事業	8,000	8,000	0	-	農林水産課
11	一般会計	養鯉振興会参画事業	5,000	5,000	0	-	農林水産課
12	一般会計	○漁業経営安定対策事業	10,444,000	10,313,612	130,388	A	農林水産課
13	一般会計	○漁業振興事業	15,000,000	15,000,000	0	A	農林水産課
14	一般会計	○漁業後継者育成対策事業	840,000	120,000	720,000	A	農林水産課
15	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	-	農林水産課
16	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	-	農林水産課
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			27,199,000	26,335,730	863,270		

基本事業概要シート③

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名③	魚のブランド化と地産地消の推進		
基本事業③の目的(意図)	魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。		
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津のさかなブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な魚津の魚の美味しさをアピールし、消費の拡大に努め、魚津ブランドの確立に努めました。また、寒ハギ「如月王」、「バイ飯」のPRや販売活動を強力に進めました。</li> </ul> <p>【魚食普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内8市町(魚津市、富山市、滑川市、黒部市、高岡市、射水市、入善町、朝日町)が連携し、「富山県おさかな普及協議会」が実施する「魚の料理講習会」、「給食食材の提供」等の普及活動に対して支援しました。(H26新規「おさかな読本」の作成、配布)</li> </ul>		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市場での水産物取扱額	百万円	1,631	1,700	1,800	1,900	2,000	2,050	2,100	2,150
			1,570	1,555	1,465	1,457	1,626		

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚食普及事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
2	一般会計	○魚津のさかなブランド化推進事業	500,000	500,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	○漁業振興事業(施策6②再掲)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)	A	農林水産課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			700,000	700,000	0		

施策No.	6	施策名	水産業の振興
-------	---	-----	--------

26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆水揚げ量は、市の目標値を超えて推移しており、昨年は5千トンを超え近年の最高値を記録しました。また、減少傾向が続いていた取扱額についても、大幅な増加となり16億円を超えました。これは平成21年度実績に迫るものであります。</li> <li>◆港施設を利用する船舶は、減少傾向が続いていましたが、平成26年度は、若干の増加がみられました。</li> </ul> <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆漁業従事者は、異業種からの参入する者の就業があり、平成24年度以降は増加に転じていますが、市の目標値には届いていません。</li> </ul> <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆減少傾向が続いていた取扱額は、昨年は大幅に増加し、16億円を超えました。これは平成21年度実績に迫るものであります。(再掲)</li> <li>◆市民意識調査結果では、「地場産食材をほぼ毎日使っている人」の割合は31%で前年結果と同じ数値、また市の目標値には達していませんが、「週に数回使っている人」の割合が49%あり、市民の地産地消に対する意識は高まってきています。(再掲 農業の振興)</li> </ul>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)

部会評価 (協議結果、今 後の方針及び 課題等につい て記載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆水産資源の管理と豊かな漁場づくりなど魚津産の魚介類の確保と付加価値の創造を図り、漁業経営の健全化、安定化、活性化を推進すること。</li> <li>◆徹底した品質管理のもと、鮮度や安全などを確保したブランド化、6次産業化、高品質化に努めること。</li> <li>◆漁業従事者の確保、育成に努めること。</li> <li>◆みなとオアシスSea級グルメ全国大会の平成29年度魚津市開催の実現を目指し、魚津の魚介類を含め、みなとオアシス魚津を広く全国にPRすること。</li> </ul>	

経営戦略会議 における施策 の課題及び方 針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆漁港施設の改修及び保全を計画的に行います。</li> <li>◆魚津産魚介類のブランド化や未利用魚を活用した商品の開発等を推進するとともに、地産地消など消費拡大を図ります。</li> </ul>	